

鹿島田返り咲き・番場ぶっちぎり

全日本大会 2007 年 6 月 17 日 北海道留寿都村・真狩村

木村佳司

日本一を競う全日本大会。
大混戦の男子を制したのは
鹿島田浩二。女子は番場洋子
がダントツの強さを見せた。

2007 年 6 月 17 日 全日本大会
北海道留寿都村・真狩村

ベテランの意地が混戦を制す

ベテランが意地を見せた。大混戦の
男子選手権を鹿島田浩二（渋谷で走る
会）が制し日本チャンピオンに返り咲
いた。

レースは荒れた。多くの有力ランナ
ーがごとごとく大きなミスに翻弄され
たレースだった。そんな中、ミスを最
小限に抑えた鹿島田が、2 位の柳下をわ
ずかり秒差でかわして優勝を決めた。

優勝した鹿島田はなんと区間トップ
ラップが一つもない。あらためてオリ
エンテーリングの難しさを感じる象徴
的な事実だ。今やトップスピードを持
たない鹿島田が、総合力で掴み取った
日本選手権の称号だ。

鹿島田のコメント

「やっぱり長く競技を続けるものだ
なあと考えた。地形がポコポコだった
難しいエリアで大きなミスをしていな
いことが一番の勝因。少しミスはする
けれどみんなミスしているだろうなと
思っていた。今年はいよいよトレーニング
が出来ている。今年の世界選手権の日
本代表メンバーには入っていないが、
もう一度日本のトップメンバーとして
競技してゆきたい。」

ナビの緩急が勝負を分けた

トレインは蝦夷富士と呼ばれる羊蹄
山の山麓。溶岩流が作る複雑な地形の
上に北海道のヤブを代表する熊笹が生
い茂る。男子選手権クラスではこのよ
うな場所にもコントロールがいくつか
設置された。

こうしたコントロールで多くの有力
選手はミスをしている。6 月の羊蹄山山
麓は笹や路（フキ）が高く生長し、テ
レイン内部の視界を悪くさせている。

トレイン全体としては自然公園にあ
り、その道をつなぐ時はかなりのスピ
ードで走ることができる。しかし一旦



紺野俊介 / 鹿島田浩二 / 柳下 大
加藤弘之 / 松澤俊行

ヤブに突っ込むと、スピード感覚をガ
ラリと切り替えてナビゲーションを行
わなくてはならない。ここを如何に上
手く切り替えることが重要だったと考
えられる。

また、こうした荒れたレースが予想
されたとき、どれだけ気持ちを萎えさ
せずにフィニッシュまでレースを運ぶ
ことができるかが勝負の分かれ目とな
ったことだろう。

男子選手権 M21E 8700m ↑440m

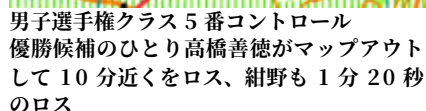
1	鹿島田浩二	渋谷で走る会	1:22:22
2	柳下 大	Forester	1:22:31
3	紺野俊介	横浜 OLC	1:22:42
4	松澤俊行	三河 OLC	1:23:13
5	加藤弘之	ES 関東 C	1:23:44
6	山口大助	ES 関東 C	1:27:05



A female triathlete is captured mid-stride while running through a sun-dappled forest. She is wearing a red and grey triathlon jersey with the number 22 on the front, black leggings with red accents, and a race bib. She is holding a green water bottle in her right hand and a white paper in her left. The background is a dense forest with tall trees and green foliage.

女子選手権 W21E 6700m ↑360m

- (木村佳司)



圧倒的な安定感。男子と違って女子は番場洋子がほとんどの区間でトップラップを叩き出し、文句なしの優勝を飾った。

彼女がいくつかライバルに負けているのは、レーススピードがぐっと落ちる笹藪の区間だけだ。トレイン全体を覆う溶岩流のため森の足場は悪く、足を故障している番場にとって下りの区間はかなり怖かったようだ。そのぶん登りをがんばって走ったと言う。番場が課題としているフィジカル（体力）強化の成果が現れたレースだと言える。

オリエンテERING競技に専念するため、2008年8月までの期限付きで会社を短時間勤務にしている番場洋子にとって、何よりも欲しいのは結果だ。今回の全日本選手権者の結果を勤務している会社に示すことで今後もオリエンテERING競技に打ち込む環境を作りだすことができるだろう。